



保護者会に向けて

10日（水）から保護者会が始まります。内容は、進路に関する話し合いが主となります。一昨年度から入試日程が早まっただけでなく、成績も2学期は積算で出されることもあり、例年よりも踏み込んだ形で相談をすることになるでしょう。先を見通しての進路の話を進めていかなければなりません。

また、今までの学校生活を振り返りながら、今後どのような点に留意して勉強していくか、進路を考える上で今後気を付けていきたいことなどについて具体的に話し合っていきます。2学期以降の進路決定に向けて、気になることは積極的に相談し、不安や悩みを少しでも解消できるようにしていきましょう。

保護者会での確認事項

①就職希望か進学希望かを確認する

- 就職希望の場合 → 就職希望者は2学期に入ってすぐに職業適性検査を受けることとなります。また、10月以降に職業安定所での面談を経て、希望する職場を見学し、1月の就職試験を受けるという流れになります。
- 進学希望の場合 → 普通科にするのか専門学科にするのか、また、公立高校にするのか私立高校にするのかなど、現時点での希望を固めておきましょう。

②進学希望の場合は、今の段階での志望校を確認

- ※ 第1希望だけでなく、第2、第3…と話を進める
(第2希望、第3希望は滑り止めではなく、2番目、3番目に行きたい学校と考える)
- ※ 公立だけでなく、私立高校や専修学校も考えておく
(いろいろな学校について調べておく)

③体験入学の確認

- ※ どの学校に体験入学に行くのかを確認する
- ※ 私立高校や専修学校を第1希望にしている場合、必ず体験入学に参加する
(専修学校の場合、体験入学の参加を入試が受けられる条件にしている学校があります)

④学校生活の様子

- ※ 提出物の状況、学習について
- ※ 生活面の様子
- ※ その他気になることなど

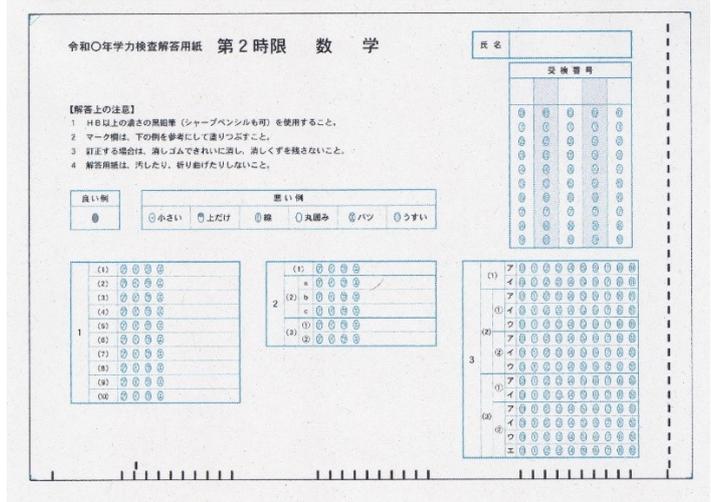
進路に関することで困っていることや悩んでいることを、積極的に担任の先生に話をしてください。また、須浪は10日は部活指導で剣道場にいますが、11日と12日は職員室で待機しています。「これは早く知りたい」ということがあれば、遠慮なく須浪のところへ尋ねてきてください。



公立高校入試 一般選抜 学力検査のマークシートについて

＜マークシートの形式（イメージ）＞

- ※ 追検査の解答用紙もマークシートになります。
- ※ 特色選抜、外国人生徒等選抜、全日制単位制選抜、第2次選抜、定時制課程では、従来と同様の解答用紙を使用します。
- ※ 言葉や文を書いて答える問題はありません。
- ※ これはイメージであり、実際に使用するものとは少し異なる場合があります。



＜解答の方法＞

○ 符号選択式の解答例

符号を選択する場合は、符号のかな文字のマーク欄を塗ります。

(1) $8 + 3 \times (-2)$ を計算し、その答えをアからエまでの中から選んで、そのかな符号を答えなさい。
 ア -22 イ -13 ウ 2 エ 18

※ 1つだけ選択する場合は、この問題の正答は「ウ」なので、右のように塗ります。

(1)	ア	イ	ウ	エ
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

(6) 次のアからエまでの中から、 y が x の一次関数であるものをすべて選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 1辺の長さが $x\text{cm}$ である立方体の体積 $y\text{cm}^3$
 イ 面積が 50cm^2 である長方形のたての長さ $x\text{cm}$ と横の長さ $y\text{cm}$
 ウ 半径が $x\text{cm}$ である円の周の長さ $y\text{cm}$
 エ 5%の食塩水 $x\text{g}$ に含まれる食塩の量 $y\text{g}$

※ 2つ以上を同時に選択する場合は、この問題の正答は「ウ」と「エ」なので、右のように塗ります。

(6)	ア	イ	ウ	エ
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

○ 数値を答える形式の解答例

数値を答える場合は、かな符号にあてはまる数字のマーク欄を塗ります。

(9) Aは2点 $(-3, -8)$, $(1, 4)$ を通る直線上の点で、 x 座標が3である。このとき、点Aの y 座標は $y = \frac{\text{アイ}}{\text{イ}}$ である。

※ $\frac{\text{アイ}}{\text{イ}}$ のように、かな符号が2つ表示されている場合は、2けたの数を解答します。この問題の正答は「10」なので、アの欄は「1」、イの欄は「0」を塗ります。
 なお、このような場合、1けた目のアの欄に「0」が入ることはありません。

(9)	ア	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	イ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

◎ $\frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ に $\frac{3}{8}$ と答える場合

※ アの欄は「3」、イの欄は「8」を塗ります。

ア	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

◎ $\frac{\text{ア}\sqrt{\text{イ}}}{\text{ウエ}}$ に $\frac{2\sqrt{7}}{15}$ と答える場合

ア	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ウ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
エ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

- ※ 数学を例にとって説明していますが、他の教科も基本は同じです。
- ※ 上の問題は過去の出題を基にした例であり、実際に出題する問題とは表現が異なることがあります。